



2024年2月9日

各位

会社名 株式会社ダイレクトマーケティングミックス
代表者名 代表執行役社長CEO 小林 祐樹
(コード番号: 7354 東証プライム)
問合せ先 執行役 CFO 土井 元良
(TEL 06-6809-1615)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年11月14日に公表しました2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の通期連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(単位: 百万円)

| | 売上収益 | 営業利益 | 税引前利益 | 当期利益 | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 基本的1株当たり当期利益 |
|----------------------------|--------|-------|-------|-------|------------------|--------------|
| 前回発表予想 (A) | 27,500 | 2,000 | 1,970 | 1,290 | 1,290 | 27.97 |
| 今回修正予想 (B) | 26,850 | 1,220 | 1,180 | 310 | 310 | 6.73 |
| 増減額 (B-A) | △650 | △780 | △790 | △980 | △980 | △21.24 |
| 増減率 (%) | △2.4 | △39.0 | △40.1 | △76.0 | △76.0 | △75.9 |
| (ご参考)前期実績 (2022年12月期通期) | 34,674 | 5,771 | 5,731 | 3,803 | 3,803 | 85.09 |

(修正の理由)

今回の修正理由としましては、決算作業の進捗によって確度の高い集計値が算出され、親会社の所有者に帰属する当期利益の乖離率が開示基準を超えたため、業績予想値を変更いたします。

前回業績予想と比較すると、売上収益につきましては、650百万円減少し26,850百万円となる見通しです。利益項目につきましては、営業利益は前回予想と比べて780百万円減少し1,220百万円、税引前利益は前回予想と比べて790百万円減少し1,180百万円、当期利益は前回予想と比べて980百万円減少し310百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前回予想と比べて980百万円減少し310百万円となる見通しです。

2023年12月期に当社の連結子会社である株式会社マケレボ(以下、「マケレボ」といいます。)において発覚した請求に関する不適切行為(以下「本件」)に関し、本件に係る調査報告書において対象となった行為の顧客及びその親会社との間でマケレボが解決金を支払う方針で早期解決を目指した協議が進められております。かかる協議が合意に至った場合に本件に関する全ての協議は終結する予定です。

当該解決金は顧客への支払として取り扱われるため、売上収益からの控除が生じる見通しとなっております。加えて、マケレボにおいて本件に係る売上収益の控除等による繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、親会社の所有者に帰属する当期利益の予想を下方修正することとなりました。

2. 配当予想の修正

| | 年間配当金（円） | | |
|---------------------------|----------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回発表予想 (2023年11月14日発表) | | 6.00 | 6.00 |
| 今回修正予想 | | 3.00 | 3.00 |
| 当期実績 | 0.00 | | |
| 前期実績 (2022年12月期) | 0.00 | 17.00 | 17.00 |

(修正の理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、今後の事業展開と財務体質の強化のため必要な内部留保を確保しつつ、総還元性向40%を目指していく考えです。剰余金の配当においては内部留保金と剰余金の水準を総合的に勘案し、EPSの成長に応じて配当金額を算出することを基本方針としております。

2023年12月期の期末配当予想につきましては、連結業績予想を修正する状況を勘案し、期末配当金を前回発表予想の6円から3円減額し、1株当たり3円とすることといたしました。

※上記の通期連結業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以 上